

高校数学の受講のしかた（2023年度）

【1】高校数学は、次の6科目から選んで受講できます。

- | | | | |
|----------------|------------|---|-----------------------------------|
| (1) 数Ⅰコース（新課程） | 数Ⅰコース（旧課程） | } | ◀旧課程は、3年生の
共通テストや2次試験
対策用です |
| (2) 数Aコース（新課程） | 数Aコース（旧課程） | | |
| (3) 数Ⅱコース（新課程） | 数Ⅱコース（旧課程） | | |
| (4) 数Bコース（新課程） | 数Bコース（旧課程） | | |
| (5) 数Cコース（新課程） | | | |
| (6) 数Ⅲコース（旧課程） | | | |

【2】受講のしかた

- (1) 基本的には、1科目週1コマずつの授業です。（1コマ90分授業です。）
- (2) 2科目を受講する場合は、週2コマずつ受講して下さい。
このようにしないと学校の授業についていけないからです。
週2コマの時間がとれないときは、週1コマずつ受講していて、遅れている分は
スポット授業を利用して遅れを取り戻していく受講方法もあります。
スポット授業を受講する場合は、
 - ・受講希望曜日・時間・内容を指定して先生に申し出てください。
 - ・席が空いていれば受講できます。空いていないときは調整します。
- (3) 受講科目の変更はいつでもできます。月の途中からでもできます。
学校の進度に合わせて受講科目を変更して下さい。
変更は、1週間ほど前までをお願いします。（教材の準備のためです）

【3】学習のレベル

- (1) 通常は、学校の定期テストで目標とする得点をとるための学習指導を行います。
課題プリントや指定問題集の問題がすべて解けるようになったからといってテストで高い点数が取れるとは限りません。テストでは同じ問題が出題されるわけではないからです。新しい条件が付加された問題（応用問題）を解けるようにしておかないと高い点数はとれません。
また、下手な解き方を覚えていると、テストで時間がかかったり、まちがったりして、高い得点ができません。
（下手な解き方というのは、めんどろで、時間がかかり、まちがしやすい解き方のことです。公式や定理をまちがって覚えている人もおります。）
そこで、数専ゼミでは、解法パターン別に問題を解かせ、理解の浅いところや解き方が下手なところ、まちがって覚えていることを見つけ出し、修正します。
また、少しレベルを上げて”基礎”を応用する(使い回す)技術を教えます。
時間的な制約から、テスト範囲をすべて指導することはできませんので、学習したい項目を選んでいただき、それを集中的に指導します。
より多くの項目を学習しておきたい場合は、スポット授業をご利用下さい。
スポット授業の受け方によっては、テスト範囲をすべて学習できます。

(2) 学校の授業とは関係なく、

模試や受験対策のための既習事項の復習（弱点補強）もできます。

学習したい内容をお申込下さい。塾で教材を準備し、指導します。

塾の教材は、すべて解法パターン別に構成されており、それを前から順に解くこと
によって解けない問題のパターンを見つけ出すことができます。

そこを集中的に攻略すれば、短期間に確実に弱点を補強できます。

基本からの学習でも、応用力を高める学習でもできます。

応用力とは、”基礎”を応用する(使い回す)技術のことです。

基礎は基本とはちがいます。

基礎とは、ある高度な問題を解くときに使う知識や技術のことです。

だから、問題が高度であればそれに対する基礎も高度な問題になります。

たとえば、2次の入試問題の基礎は、教科書のレベルをはるかに超えることもあります。

(3) 時間に余裕があったり、力のある人には入試問題(2次出題問題)レベルの問題などもやります。

共通テストは、問題が特殊なので数学の基礎を習得するには適していないから
あまり早くからやってもやっても、時間の無駄になります。

共通テスト対策については、3年の10月からやります。

共通テストそのものはていねいな解説書も出ていますし、学校でも指導するとお
もいますので、塾ではもっぱら共通テスト模試演習を行います。

初見で解ける力、時間内に解く力をつけます。

だから、3年の9月までには、共通テストの過去問の解説を読んで、自分の力
だけで理解できる”基礎力”を身につけておきましょう。

そうすれば、自分の計画で、ハイスピードで過去問を学習することができます。

(センター試験までやっておくことをお勧めします。共通テストには多くの問題
点があり、センター試験の傾向に戻る可能性もあるからです。)